

研究機関：広島大学

研究課題名	泌尿器内視鏡手術における疼痛に関する調査研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器学 教授 日向 信之
研究期間	年 月(倫理委員会承認後) ~2027年 3月31日
対象者	2010年 5月から 2025年 4月の間に、広島大学病院泌尿器科で内視鏡手術による治療を受けた患者さん。
意義・目的	<p>泌尿器内視鏡手術は、低侵襲手術ですが、実臨床の場では、術直後に疼痛の訴えがあり、頓用での鎮痛剤の追加投与が必要となることもあります。アセトアミノフェン静注薬の術後定時投与を行うことで、より良好で安全な術後管理が実現することが期待され、術後定時投与を行った患者さんの、その鎮痛効果について検討いたします。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（血清クレアチニン、推定糸球体濾過量など）、術後疼痛スケールなどです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	ございません。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科腎泌尿器学 講師 林 哲太郎
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5242 広島大学病院泌尿器科 講師 林 哲太郎</p>